

家畜ふん堆肥を 使ってみませんか？

近年、肥料価格の高騰が続き、耕種農家の経営を圧迫しています。同時に、環境への配慮や持続可能な農業への関心も高まっています。

そんな中、地域の畜産農家がつくる「家畜ふん堆肥」が、コスト面でも環境面でも注目されています。地域資源を活かした農業の一歩として、家畜ふん堆肥の活用を考えてみませんか？

土を元気に

家畜ふん堆肥は、有機質が豊富で土壌を柔らかくし、作物の根張りを良くします。こうした土壌改善により、連作障害の軽減や地力・収量・品質の向上といった効果も期待できます。

効果	内容
土壌の物理性が改善	団粒構造により、通気性・排水性・保水性が向上
土壌の化学性が改善	土壌中の陽イオン交換能力が増大し、養分保持力向上
土壌の生物性が改善	有機物の分解に関わる微生物が増え、病原菌の勢いを低下させ、病害の発生を抑制

▲家畜ふん堆肥の効果

肥料コストを削減

輸入に依存し、国際情勢等で価格が変動しやすい化学肥料の一部を、地域の資源を活用した家畜ふん堆肥に置き換えることで、肥料コストの削減につながります。

環境に優しい循環型農業

家畜ふん堆肥を活用することで、資源を無駄なく循環させる環境にやさしい農業が実現できます。さらに、地域で生まれた資源を地域の農地に還元することで、循環型農業の実践につながり、持続可能な農業を目指す上でも重要な取組となります。

堆肥生産者リスト

埼玉県では、家畜ふん堆肥を生産する畜産農家の情報をまとめた「堆肥生産者リスト」を公開しています。このリストには、生産者名、所在地、連絡先、畜種などが掲載されており、堆肥導入の参考になります。

まずはリストを活用し、地域の畜産農家とつながってみましょう。

○堆肥生産者リスト(県畜産安全課中)
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0908/taihiseisansyarisuto.html>